広報 NISHIWAGA PUBLIC RELATIONS

にしわが

No.94
9月号
2013
（平成25年）

「広報にしわが」は西和賀町のホームページでも公開しています。
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/
西和賀町 検索

今月の内容

６次産業関連……2～3P
敬老会……4P
地域演劇祭……5P
町民劇場……6P
保育所運動会ほか……7P
町の話題……8～9P
放射線量検査結果ほか……11P
地域レーダー……13P
みんなのページ……15P
お知らせ……16～17P

お母さんはやく、はやく！

９月７日、町内の保育所、保育園で秋の運動会が行なわれました。

天候が心配されましたが、新町保育所では小雨の中、外での運動会を決行。子ども達のがんばりに天気も味方したのか、徐々に天候も回復。子ども達は元気いっぱいで練習の成果を出していました。（関連記事：７P）

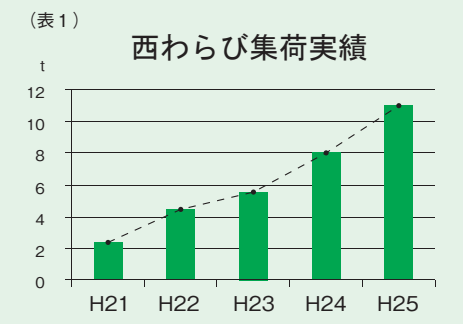
6次産業で未来を拓く

地域資源を活用した西和賀型6次産業の取り組み

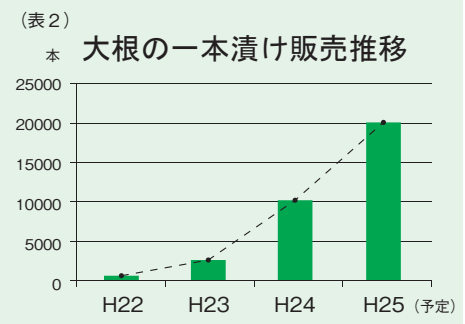
町は平成24年度に6次産業推進センターを設置し、6次産業を活用した町づくりをスタートしました。「西わらび」や「大根の一本漬け」といった西和賀町ならではの気候風土により培われた地域資源を活用した取り組みに力を入れており、平成25年現在で㈱西和賀産業公社の西わらびの出荷者は92人、集荷量は11トンに及ぶなど、順調に取扱量を増やしています。（表1）また「大根の一本漬け」もオーナー制度を採用することで、流通の体制を整備しながら販路を拡大し、3年前の500本から今年度は40倍となる2万本の生産・販売を目指すところまで到達することができています。（表2）

今年3月に行なわれたシンポジウムでのパネルディスカッションの様子

（表1）



（表2）



また、地元の資源を活用して新たな取り組みを進めたいという、やる気ある事業者に対しては、東北農政局奥州地域センターや県南広域振興局といった国・県の機関も、積極的に現場に入って応援する体制が整っています。企業訪問や制度説明会を通じて、6次産業総合化計画の作成支援や、上限20万円のチャレンジ支援事業といった制度支援による事業化に結び付けており、国の6次産業総合化計画は、現在町内で4事業所が取得するなど（県内では3番目の取得件数）、今後も新たな事業者による認定の取得が見込まれています。チャレンジ支援事業についても今年度は11団体が事業承認を受け、地域づくりや新しいビジネスの種も撒かれ始めています。

3月にはこれまでの6次産業化の取り組みの発表の場として銀河ホールにおいて、「6次産業で未来を拓く西和賀まちづくりシンポジウム」を開催し、講演会やパネルディスカッションを通じて理解を深め、西和賀町の気候・風土が生み出した食材のパワーや、これらを活用してみんなで取り組むことの大切さを確認しながら、西和賀町の地域資源に自信を持つ機会となりました。

生産・山菜の栽培技術を伝承

今年度は新たな取り組みとして、山菜の栽培技術の伝承事業を進めています。以前は山取りが主流だった山菜も、近年では休耕田を活用した平地栽培が進んでおり、栽培技術の普及がいっそう重要になっています。町では、こうした栽培技術もひとつの資源と捉え、長年山菜栽培に携わってきており、現在も18種類の山菜を栽培する山菜栽培のプロ小田島薫さん（本屋敷）から技術指導を受けながら栽培ノウハウを伝承し、その技術をマニュアル化することを目指しています。栽培技術をデータ化することで共通の財産とし、それを普及に繋げることで山菜取扱量の増加や、取扱品種の拡大などが期待されています。

販売・盛岡で『西わらび』キャンペーン

盛岡市内の飲食店等11店との共同企画として、6月の1ヵ月間「西わらび食ってみでけろキャンペーン」を展開しました。このキャンペーンは西和賀町のブランド山菜「西わらび」を盛岡市内の飲食店等で扱ってもらうことで、盛岡圏の消費者に「西わらび」に親しんでもらおうと企画されたものです。コラボレーションで取り組むことで「西わらびと納豆のかき揚げ」といった創作メニューも生まれました。参加した飲食店からは、一度食べた人が二度三度注文するなどリピーター効果が見られた、こだわりの食材「西わらび」としてメニューに掲載することができた、と評価も高くブランド力の向上に繋っています。こうした西和賀町の特産品に対する評価は、大根の一本漬けなど他の食材の取引に繋げることも期待されています。

6次産業取り組み

平成24年度に取り組んだ事業の中から3つを紹介します

大根づくりで地域づくり

繋ぎの郷づくり委員会

繋ぎの郷づくり委員会は小繋沢地区の住民40世帯により組織されています。地域で大根栽培に取り組み、品評会を独自に行うなどしていましたが、加工スペースが無いことから、生大根の販売に留まっていました。そこで、チャレンジ事業を活用してプレハブの加工場を整備し、漬け込みスペースを確保して大根の一本漬けの製造に乗り出し町内の旅館に販売したところ「美味しい」と評価も上々、商品開発と販路の開拓が一気に進みました。こうなると地域住民のやる気にも繋がり、大根の生産にも更に力が入ります。大根作りを通じた６次産業化の取り組みが、元気な地域づくりにも繋がっています。

ワラビ乾燥機で効率アップ

（有）ハシバ

㈲　ハシバでは、自社で栽培したワラビを活用して乾燥ワラビの販売をスタートしました。ワラビの乾燥方法は、天日干しと手もみの繰り返しにより行っていましたが、乾燥機の導入により乾燥の時間が大幅に短縮され、作業効率が大幅にアップしました。残暑が長く続く年は天日のみでの乾燥も順調に行えますが、今年のような湿気の多い年は天日干しに時間がかかるため、天候に左右されない乾燥機の導入は加工工程にとても役立っています。

乾燥ワラビは主に盛岡市内の飲食店に販売されており、今後も栽培面積の増加や取引先の開拓により所得の向上に繋がっています。

◆問い合わせ先／６次産業推進センター
☎81－1185（西和賀産業公社内）

6次産業チャレンジ支援事業

町は６次産業チャレンジ支援事業で事業者の取り組みを支援しています。

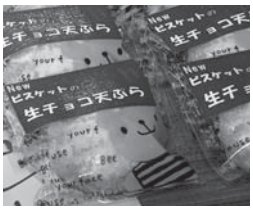
平成 24 年度は７事業所が事業認定を受け取り組みました。今年度は次の 11 事業所がエントリーし事業を進めています。

①**銀河の里沢内**「西和賀産素材を使用した小袋化」
②**猿橋営農管理組合**「燻り製品開発事業」
③**繋ぎの里づくり委員会**「大根の一本漬けを活用した繋ぎの郷づくり」【事業継続】
④**大野集落営農組合**「味噌用手動カップシール機導入」
⑤**味工房かたくり**「西和賀の特産品を活用した新商品開発」
⑥**菜の郷にしわが**「地元農林産物を活用した新商品開発」【事業継続】
⑦**里の恵**「受け入れ態勢の整備に伴う販路拡大」
⑧**むつみ会**「新たな取組み共同商品の開発に伴う設備の導入」【事業継続】
⑨**農＆結クラブ**「休耕田を活用した野菜作りで新商品開発」【事業継続】
⑩**ちゃい夢の会**「西和賀産そば粉で商品開発」
⑪**七内川特産品加工組合**「町内商業観光施設と提携した冬期出荷向け加工飯場事業」

伝統食に工夫を加えて新商品開発

むつみ会

西和賀町内の人なら誰でも知っている「ビスケットの天ぷら」、ご当地グルメとしてマスコミにもたびたび取り上げられています。むつみ会ではチャレンジ事業を活用し、バレンタインデーに合わせてビスケットの天ぷらにチョコレートを挟み込んだ新バージョンを開発しました。パッケージも工夫して、湯夢プラザの売店などで試験販売したところ、新聞記事にも取り上げられるなど話題にもなりました。現在では更にイチゴを挟みこんだバージョンを開発するなど、商品のラインナップを増やしています。



特別寄稿

中山間地に勇気を与える 西和賀町の６次産業

県南広域振興局経営企画部
主任主査　竹花光弘

近年、６次産業化による地域振興に大きな期待が寄せられています。国、県、市町村、そして金融機関も乗り出し、６次産業化の支援制度づくりや取組に力を注いでいます。

こうした中、西和賀町は昨年４月に全国に先駆け「西和賀町６次産業推進センター」を立ち上げました。町から専任の職員を配置し、国、県、そして民間企業の参画も得ながら、いっしょに西和賀町の６次産業化を進めようとする画期的な取組です。

設置からまだ１年半ですが、「西わらび」や「大根の一本漬け」など、地域資源と、気候風土、文化、人材を巧みに組み合わせたブランド化の取組が連日新聞紙上を賑わし、国や自治体からの視察も絶え間ないなど大きな注目を浴びています。

中山間地の６次産業化は、そこで暮らす人々をたとえ小さな舞台であっても主役にする取組であるべきです。私が現場でお会いする西和賀町の高齢者の皆様はとても元気で、そして驚くほど意欲的です。「生涯現役で仲間と楽しく働ける町」これはできそうです。その次は、「子育てしながら家族でいっしょに働ける町」、そして「若者の創業を一番応援する町」へ、小さな経営者がいっぱい生まれる６次産業化に夢が膨らんでいます。

１００人を雇用する企業の誘致は難しいかもしれませんが、１００人の小さな経営を支え、その生き方をブランド化していく。これは全国の中山間地に勇気を与える大きなチャレンジです。

平成25年度敬老会

各地区で長寿を祝う

長年にわたり家族や地域を支えてきたお年よりの皆さんに感謝し、その長寿を祝う敬老記念式典と祝賀会が、町内各地で行われました。

今年は8月25日に行われた長瀬野、猿橋地区をはじめ、9月18日までに、高齢者福祉施設を含む町内32の会場で行われました。記念式典、祝賀会はそれぞれの地区が中心となって行われており、喜寿（77歳）と米寿（88歳）、そして90歳以上の人には町から記念品を贈っています。

町が補助対象としている昭和14年4月1日以前に生まれた75歳以上の人は、男性が662人、女性が1185人で合計1847人。このうち喜寿の人が129人、米寿93人、90歳から99歳の人が242人、100歳以上の人が10人です。対象者の数は、昨年に比べて12人増えました。

長瀬野地区でも盛大に

長瀬野地区では、8月25日に長瀬野会館で敬老者祝賀会が行なわれました。同地区の祝賀会は、例年、町のトップを切って行なわれており、該当者および関係者約60人が出席し、お互いの長寿を祝いました。

細井町長からは「みなさんが歩んできた人生に思いを馳せると、私どもには想像も及ばないようなご苦労があったと思います。並々ならぬ生命力と精神力を持ってそれらを乗り越え、果てしない行動力と創造力を持って時代を動かし、こうして後世の私たちへと命をつなげてくれたことに感謝します」と祝辞がありました。

また、参加者を代表し髙橋正慶さんが「人生を振返ってみると、世のため人のために特別に何かをしたのではなく、ただ一つ長生きをしただけ。このような席を設けていただき大変恐縮している。これからも健康に留意し、仲間と共に励まし合い、認知、寝たきり、介護にならないようハツラツとした老後を送っていきたい」とお礼を述べました。

祝賀会では、今年で50周年を迎える長瀬野老人クラブの記念行事として、せんだん保育所年長組の遊戯や歌、やよい会や井上一子社中など踊りが披露され、楽しいひとときを過ごしました。

お互いの長寿を祝った長瀬野地区の祝賀会

会場別の75歳以上人数

地区名	該当者			左のうち			
	計	男	女	喜寿	米寿	90~99歳	100歳~
貝沢	67	33	34	2	6	3	0
若畑	53	18	35	5	3	2	1
川舟	124	51	73	9	10	14	0
長瀬野	63	21	42	10	2	10	0
泉沢	69	26	43	2	3	7	0
弁天	27	10	17	4	0	1	0
猿橋	61	24	37	7	1	4	1
太田	91	33	58	8	4	10	1
鍵飯	21	7	14	2	1	0	0
前郷	86	33	53	7	5	9	0
新町	113	36	77	9	6	20	1
大野	52	18	34	4	1	9	0
東大野	35	15	20	0	2	1	0
左草	30	12	18	5	1	2	0
下前	37	13	24	0	2	8	0
湯田	105	40	65	11	4	11	2
清水ヶ野	19	6	13	1	2	2	0
間木野	20	6	14	0	1	1	0
湯本	100	34	66	9	3	10	0

地区名	該当者			左のうち			
	計	男	女	喜寿	米寿	90~99歳	100歳~
槻沢	37	16	21	2	1	3	0
湯之沢	44	15	29	2	0	10	0
川尻一区	69	23	46	1	1	9	0
川尻二区	93	34	59	5	4	16	0
上野々区	88	35	53	7	6	9	0
耳取	41	9	32	2	2	7	0
草井沢	11	5	6	1	0	1	0
鷲之巣	9	5	4	3	0	1	0
湯川	32	9	23	2	1	4	0
小繋沢	31	11	20	3	1	4	0
白木野	43	20	23	3	2	5	0
野々宿	28	8	20	2	1	2	1
越中畑	27	9	18	1	2	2	0
柳沢	26	10	16	0	5	3	0
清水苑	0	0	0	0	0	0	0
ぶなの園	47	10	37	0	6	20	1
光寿苑	48	7	41	0	4	22	2
合計	1847	662	1185	129	93	242	10

（平成25年8月15日現在・保健福祉課調べ）

第21回銀河ホール地域演劇祭

地域演劇賞は「劇団弘演」（青森県）が受賞

9月7日と8日の2日間、西和賀町文化創造館銀河ホールを会場に、第21回銀河ホール地域演劇祭が行われました。

この演劇祭は、平成5年の第8回国民文化祭いわて93民話劇部門の会場に、同年に完成した銀河ホールが選ばれたことが始まりで、それ以来毎年行われています。

地域演劇祭への出演団体は、この間で70団体以上（地元劇団のぶどう座・シニア劇団を除く）に及び、県内外で地域に根ざした活動をしている団体が数多く出演しています。

今回は、青森県青森市の「渡辺源四郎商店」、地元西和賀町の「劇団ぶどう座」と盛岡市の「劇団結」のほか、町や北上市、横手市在住者などによるシニア劇団「松ぼっくり」も出演、幕間には陸前高田市の人形劇グループ「ポレポレ」全5団体による演劇が上演され、両日とも銀河ホールは多くの来場者でいっぱいになりました。

また、開会に先がけ、これまで銀河ホール地域演劇祭で上演された中から、特にすぐれた作品を表彰する「銀河ホール地域演劇賞」の表彰式も行なわれました。第3回目となる今回は、第16回地域演劇祭で上演された、青森県弘前市の「劇団弘演」（秋本博子代表）の「つゆのひぬま」が受賞しました。

劇団を代表して表彰式に出席した作間しのぶさんに、実行委員会長の細井町長から記念の盾と副賞が贈られました。

作間さんは「この作品は舞台装置がすごかったので、作業は徹夜だった。銀河ホールのスタッフのみなさんが『何時までもお手伝いしますよ』という言葉に甘えてしまった。おかげで銀河ホールというすばらしい空間でとても心地よく演技をすることができた。色々な作品を見てきたみなさんから選んでもらったことは大変うれしく、劇団創立50周年の記念の年に受賞できたことはご褒美をいただいたような気持ち。これからも地域に根ざした演劇を届けていきたい」と受賞の喜びを話していました。

渡辺源四郎商店（青森県青森市）

「みなぎる血潮はらっせらー」

劇作家・演出家の畑澤聖悟氏の筆による青森県で歴史的人気ラジオドラマ「県立戦隊アオモレンジャー」をモチーフに家族愛を描くレパートリー。

劇団ぶどう座

「僻村日記（二）『すものの木』」

劇団を主宰する川村光夫氏が昭和40年に発表した作品「めくらぶんど」の続編。幽霊になって登場する人が２人に増えるなど、人口が減り元気がなくなるのではなく、ともに笑って辛さを乗り越えて行こうという気持ちが込められた作品。

劇団結

「息　子」

大正11年に発表され、翌年の３月帝劇で上演。どんな人間でも、他郷に離れていっても気遣うのは父母のこと。そして、子の成長と成功を信じて疑わない親。親子愛を描いた不朽の名作。

人形劇グループ「ポレポレ」（陸前高田市）

「三枚のおふだ」

3.11の大津波で稽古場を流され、大切な仲間も失ってしまいました。立ち直るのは容易ではありませんでしたが、お客様に励まされながら舞台に立てる喜びをかみしめながら上演しています。昔話を題材に、手作りの人形や道具、オリジナルの脚本で公演活動を展開。

「シニア劇団松ぼっくり」

町内出演者紹介（敬称略）

佐藤　　武	（新町・座長）
小林　良一	（湯　本）
高橋　定雄	（川　舟）
高橋　重三	（川　尻）
高鷹ミヤ子	（湯　川）
高橋　セツ	（小繋沢）
千田　フミ	（上野々）
高橋　テツ	（湯　川）
佐々木繁子	（前　郷）

シニア劇団松ぼっくり

「唄う平成お宮の松」

昔懐かしの唱歌などの替え歌が挿入された楽しい歌入芝居。３市町から集まったみなさんの個性あふれる演技が魅了。

「西和賀・町物語第二章」に向け みんなで思いっきり語ろう会開催

昨年の11月に行なわれた、にしわが町民劇場「西和賀・町物語」上演から約1年が経過しました。実行委員会（委員長・細井町長・当時）が中心となり、語る会を開催。町の現状を認識し、課題を掘り起こした内容が盛り込まれ、延べ650人の来場者があった「西和賀・町物語」。町の将来を真剣に考え、改善していこうとする内容に多くの人に勇気と希望を与えてくれました。

町は、来年度に「西和賀・町物語第二章」の上演を目標にしており、前作に引き続き、町民の意見を聞き、その意見の中から出た町の課題や将来像を演劇の内容に取り入れたいと考えています。

昨年11月に上演された「西和賀・町物語」の１シーン

「西和賀・町物語第二章」の制作に向け9月1日、銀河ホールで「みんなで思いっきり語ろう会」が行われました。会には、新しく組織されたにしわが町民劇場実行委員会（刈田敏委員長・新町）委員をはじめ、婦人連絡協議会や老人クラブ、芸能団体、西和賀高校生など約60人が参加しました。あいさつで刈田委員長は「今日の語ろう会で出たみなさんからの意見を聞き、考えていく中で、一人ひとりが何かひとつでも実になるものにして欲しい。2回目となると町民のみなさんの見る目も変わってくると思う。夢語りではなく、自分たちが何をできるか考えながら、すばらしい町物語の第二章を作っていこう」と意欲を話しました。

刈田敏実行委員長

参加者は、「明日をひらく西和賀の産業（仕事）」「安心して暮らせる西和賀の医療・福祉」「西和賀の地域コミュニティ活性化」の3つのテーマで6グループに分かれて意見交換を行ないました。今回の意見交換会は、前作で取り上げられた課題、そして新たな課題を解決するための解決策までを模索することとし、より具体的な話し合いになりました。会の最後にはそれぞれのテーマごとにまとめられた意見の発表会も行なわれ、参加者全員で出された内容の確認を行ないました。

今回の意見交換会で出された内容を受け、前作で脚本を書いた劇作・演出家の大峰順二さんからは「みんなが集まって、いろいろなことを話すということは大事なこと。この話を参考にしながら第二章を書き、もう一度舞台に載せてみんなで考えていきたい。今、私の中では『西和賀音頭』を作ってはどうかと考えている。地域にこれだけの個性があり、いろいろな文化や伝統があるが、その域を越えて町全体で心をひとつにして唄って踊れるものが、この民謡の里にあってもいいと思う」と次回作へ期待をしていました。

明日をひらく西和賀の産業（仕事）

安心して暮らせる西和賀の医療・福祉

西和賀の地域コミュニティ活性化

テーマごとに分かれての意見交換の様子

全体会での発表の様子

泣いた・笑った秋の大運動会

湯本保育園、新町、せんだん、川舟の各保育所は9月7日に、川尻保育園では9月14日にそれぞれ秋の大運動会が行われました。

各クラスごとの踊りやチャンスレース、紅白に分かれてのリレーや玉入れなど、子どもたちは一生懸命取り組んでいました。小さいクラスでは、観客の声援に圧倒され泣いてしまう場面も見られましたが、ゴールを目指しがんばる姿に保護者や地域の皆さんから大きな声援が送られました。

〈湯本保育園〉

湯本保育園では、雨により湯田農業者トレーニングセンターの開会となりました。徒競争や祖父母との大玉ころがし、お遊戯など大勢の観客から大きな声援を浴びながら元気に頑張っていました。「ニシワガー」も応援にかけつけ子ども達を激励しました。

「ニシワガー」の登場で力がみなぎります

〈新町保育所〉

新町保育所では、雨が心配される中ではありましたが園庭で行ないました。初めは、雨で傘やテントを立てるなどしていましたが、次第に天候も回復し予定通り行なうことができました。どの種目でも子ども達の元気な姿や歓声が見られました。

老人クラブのみなさんと一緒にスタート

たくましく育て町の宝・成長の証に

スイートベイビー健やかに ⑬

町は、赤ちゃんの誕生を祝い、健やかな成長を祈念して足形や名前、生年月日などが彫り込んだガラスの写真立てを贈っています。

今回贈呈された3人の赤ちゃんを紹介します。（9月18日現在）

大　島　陽夏乃（ひなの）ちゃん
（浩輝さん・広美さん／大野）

新　田　　樹（いつき）ちゃん
（豊さん・ゆかりさん／両沢）

小　林　愛　和（あいり）ちゃん
（武史さん・智美さん／槻沢）

スイートベイビー（記念品贈呈）について申請方法など詳しくはお問い合わせください

◆問い合わせ先　総務課☎(82)3281

協働のまちづくり推進に向け 計画策定委員会が設置されました

８月29日、町住民協働推進計画策定委員会が設置され、第１回会議が沢内庁舎で開催されました。同委員会は、平成23年度に制定されたまちづくり基本条例に基づき制定する計画について検討するための組織で、自治活動などの経験を持つ町民のほか、学識経験者、町議会議員などで構成されています。

第１回会議には、８人の委員のうち７人が出席し、高橋智副町長から委嘱状が交付された後、今後の進め方などに関し意見交換しました。

今年度は、今後４回程度の会議を開催する予定で、26年度中の計画策定を目指し活動していくこととしています。

町住民協働推進計画策定委員会の様子

認知症について考える 大塚富夫さんらが講演

自身の体験を話す大塚さん

９月10日、銀河ホールで「認知症を理解する講演会」が行なわれました。

講演会には、介護サポーターやほのぼの学園生、老人クラブなどから約２３０人が参加。講演では、ＩＢＣ岩手放送アナウンサーの大塚富夫さんが「ささやかな体験から…」と題し、自身の母親が認知症であり、日々の生活や介護に苦慮した経験を笑いを交えて話したほか、接し方に悩んでいたときに出会い、これまでの考えが一変したという「手紙」という詩の朗読などを行ないました。また、グループホーム笹の木の認知症ケア専門士真嶋初枝さん（上野々）が、音楽とふれあうことで変化していった入所者の日々の生活などについて報告しました。

平成25年度西和賀町新ビジネスチャレンジ補助金 補助対象事業が決定

町は、中小企業者、個人事業者の新しい事業活動に必要となる経費を助成する、「新ビジネスチャレンジ補助金」事業を行なっています。

この事業は、新製品や新商品、新技術等の開発を行なう「研究開発事業」、新製品等のマーケット調査や展示会の参加、商品パンフレットの作成等を行なう「販売促進事業」、特許や実用新案、商標の知的財産権の取得に取り組む「知的財産権等取得事業」の３事業を対象に補助を行ない、新ビジネスへのチャレンジを応援するものです。

全町へ公募を行なった結果、研究開発事業へ１件の応募がありました。８月23日に、細井町長、髙橋繁廣西和賀商工会長が事業の審査を行ない、その結果、サンタランド株式会社（大沓）が申請した研究開発事業への補助が決定されました。

補助事業の概要は次のとおりです。

◆問い合わせ先／観光商工課　☎(82)３２９０

＜補助事業の概要＞

①申請者　サンタランド株式会社（西和賀町大沓36-42-1）
②種　別　研究開発事業
③希望額　100万円（事業費　112万1千円）
④テーマ　「まだ見ぬ夢を現実に！」
⑤事業目的
・商品開発におけるラベル包装等の自主企画、自主作成の実現
・町マスコットキャラクター「カタクリンコちゃん」商品の開発
⑥事業内容

２機種の設備機材を導入し、自社での企画製作機能を強化することにより、事業目的とする商品開発能力の向上を実現、オリジナル商品の開発に結び付け、業務の効率化と経営の健全化を図ろうとするものです。

具体的には、設備機材「ラベルプリンター」を導入、自社でラベル等を作成することにより、新商品サンプルや小ロット、イベント企画商品等の作成を容易にするなど、新商品開発の機会拡大・短期化と多様なニーズへの対応を可能とします。

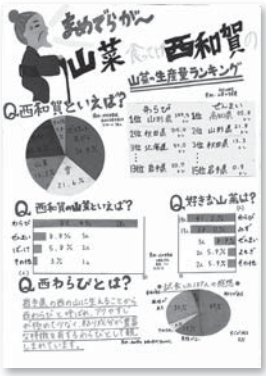
また、町内企業とのコラボ事業の第２弾として、主に時計部品を製造している北上宝飾株式会社（泉沢）へポンセン焼型作成の特殊加工を委託し、西和賀町マスコットキャラクター「カタクリンコちゃん」をかたどったオリジナル商品の企画開発を実施し、「カタクリンコちゃん」の商品化を目指します。

統計グラフコンクール入賞作品 西和賀町統計調査員協議会

町統計調査員協議会（照井重光会長・長瀬野）では、統計に対する認識を深めるため、統計グラフコンクールを実施しました。

応募された作品を審査の結果、以下の作品が入賞しました。入賞された生徒には、学校を通じて賞状と記念品が贈られました。なお、入賞作品については、岩手県統計グラフコンクールに出品するほか、町芸術文化祭で展示を予定しています。

＜中学校の生徒の部＞

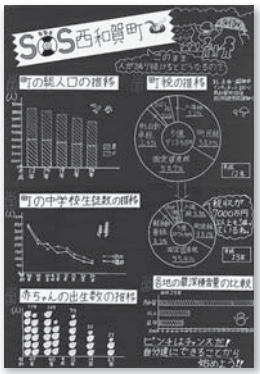


西和賀町長賞

「山菜食ってげ　西和賀の」

沢内中学校３年　佐々木　瑠華（るか）
三　浦　葵衣（あおい）
泉　川　みずき

「西わらび」をはじめ町で採れる山菜を取り上げ、各種資料データを活用した作品



協議会長賞

「ＳＯＳ西和賀町」

湯田中学校１年　南　川　陸登（りくと）

町の人口減少問題を取り上げ、税収、生徒や赤ちゃん出生の推移をグラフ化した作品

＜高等学校以上の生徒、及び一般の部＞

協議会長賞

「西和賀高校の未来を考える」

西和賀高等学校２年　菊　地　麻衣（まい）
菊　地　優里（ゆり）

西和賀高校の生徒数推移について取り上げ、町外生徒の出身校や町内中学校生徒の推移をグラフ化した作品

◆**問い合わせ先**／総務課　☎82-3281

自然と文化を活かした体験ツアーを町グリーン・ツーリズム協議会で学習会

西和賀町グリーン･ツーリズム協議会(中村キミイ会長・両沢)は８月26日､花巻農協西和賀地域営農センターで受け入れなどについて学ぶ勉強会を行ないました。

学習会には、受け入れ農家や農協、商工会関係者など約30人が参加。グリーン・ツーリズムの先進的な取り組みを行なっている秋田県のＮＰＯ法人・田沢湖ふるさとふれあい協議会の田口久義代表理事から「日本におけるグリーン・ツーリズムの発生から現在まで」と題した講演が行なわれました。田口氏は、田沢湖スキー学校校長などを歴任しており、その時にスキー修学旅行の受け入れを始めました。次第に農業体験を伴う修学旅行を受け入れ始め、ＮＰＯ法人を設立。そこにたどりつくまでの経緯などについて講演しました。

同学習会は全５回で行われ、町独自の受け入れスタイルの確立を図っていきます。

先進地事例を学んだ学習会

岩手と秋田が連携し主要地方道整備盛岡横手線道路整備促進期成同盟総会

25年度事業について協議されました

８月28日、沢内バーデンで盛岡横手線道路整備促進期成同盟会（会長・細井町長）の25年度総会が行われ、道路整備促進のための予算確保要望活動などが盛り込まれた本年度事業がすべて承認されました。

同会は、盛岡市を起点として横手市に至る主要地方道の整備を促し、国道昇格のための運動を推進するため、盛岡市、横手市、雫石町など関係５市町村の自治体と議会などで構成されています。

今年度、町内の主な事業としては、昨年に引き続き若畑地区八ツ又の道路整備(花巻土木センター管轄)や湯本大橋の橋梁補修（北上土木センター管轄）などが行なわれる予定です。

税務会計課からのお知らせです。

農業、営業、不動産所得のある白色申告のみなさんへ（税務署からのお知らせ）

平成26年1月から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

○対象となる人

事業所得（農業、営業）、不動産所得または山林所得を生ずべき業務を行う全ての人です。※所得税の申告が必要ない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

○記帳する内容

売り上げなどの収入金額、仕入れや経費に関する事項について帳簿に記載します。

記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額をまとめて記載するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

○帳簿の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

記帳・帳簿の保存制度の詳細は、国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp）の「個人で事業を行っている人の帳簿の記載・記録の保存について」をご覧いただくか、花巻税務署（☎0198―23―3341）へお電話いただき、自動音声にしたがって「2」を選択後、所得税担当までお問い合わせください。

【帳簿書類の保存期間】

保存が必要なもの		保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿（法定帳簿）	7年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿（任意帳簿）	5年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	5年
	業務に関して作成し、または受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

軽自動車税対象の小型特殊自動車についてご案内を送付致します。

乗用装置のあるトラクター、コンバイン、田植機などの農耕作業車や、フォークリフト、ショベルローダなどの建設機械は、大きさや最高速度により小型特殊自動車に該当し軽自動車税の課税対象となります。

たとえ公道を走行しなくてもナンバーの登録をしなければいけません。ナンバーを着けずトラクター等を運転している人が多々見受けられることから、今回、ナンバープレートを装着し軽自動車税を納税されている方々との公平性を保つため、農業や建設業を営んでいる人及び農業法人並びに建設業法人に対し、小型特殊自動車ナンバー装着についての案内を送付します。すでにナンバー登録をされている人にも送付される場合がありますが、所有している小型特殊自動車全てにナンバーがついているかを再度確認していただきたいという趣旨がありますのであらかじめご了承ください。

お手元にご案内が届いた際には、所有しているトラクター等が小型特殊自動車に該当するのか、ナンバーがついているのかを確認し、ついていない場合は速やかに税務会計課または町民課窓口でナンバー交付の手続きを行なってください。なお、**小型特殊自動車の詳しい条件等は案内に同封しますのでご協力をお願いします。**

送付時期　平成25年10月上旬
申請期限　平成25年11月29日（金）

◆問い合わせ先
税務会計課
☎82―3282・3283

今月納めていただく税金と納期限

国民健康保険税　3期
介護保険料　3期
後期高齢者医療保険料　3期

※納期限及び口座振替日は9月30日(月)です。

食品中の放射性物質検査結果

西和賀町などが実施した食品中の放射性物質検査の結果をお知らせします。

食品中の放射性セシウム検査の結果、国の定める一般食品の基準値100Bq/kgを超える山菜等はありませんでした。

食品中の放射性セシウム検査結果

測定方法：シンチレーションスペクトロメーターによる

（9月19日現在）

No.	採取日	検査日	品目	採取地	測定結果（※1）（ベクレル/kg） 放射性セシウム
1	7/18	7/19	ブルーベリー	長瀬野	不検出(<18)（※注2）
2	7/18	7/19	ニンニク	長瀬野	不検出(<18)
3	8/26	8/27	トンビマイタケ	左草	不検出(<16)

・No.1、2…検査機関は町。測定機器はシンチレーションスペクトロメーター
・No.3…検査機関は県農業研究センター。測定機器はゲルマニウム半導体検出器
※1　測定結果は、セシウム134とセシウム137を合算したものです。
※2　「不検出」とは、測定下限値を超えて検出しなかったことを表します。
注意1　試料質量が少ない場合、測定下限値は大きな値になります。

【小中学校・保育所（園）での放射線量測定結果】

（単位・マイクロシーベルト／時）

測定地点（校庭、園庭中央部）	9月6日(金) 地上50cm	地上1m
川舟保育所	0.040	0.036
せんだん保育所	0.051	0.047
新町保育所	0.055	0.049
湯本保育園	0.050	0.033
川尻保育園	0.051	0.042
沢内小学校	0.031	0.023
湯田小学校	0.048	0.055
沢内中学校	0.037	0.045
湯田中学校	0.015	0.019

※10秒ごとに6回測定していますが値はその平均値です。

※測定した結果は、文部科学省・厚生労働省による「避難区域等の外の地域の学校等の校舎・校庭等の利用判断に係る暫定的考え方」に基づく屋外活動の制限の指標である3.8μSv（マイクロシーベルト）／時を下回っています。

沢内病院だより

新病院建設進捗状況

今月より機械棟の工事も始まっています。8月中に行なった主な工事と今後行なわれる主要工程をお知らせします。

【8月に行なった主要工程】（主要工事）

〈病院棟〉
（1工区）基礎ベース鉄筋、型枠、コンクリート工事
（2工区）基礎掘削工事・基礎ベース鉄筋、型枠、コンクリート工事
（3工区）基礎掘削工事・基礎ベース鉄筋、型枠、コンクリート工事
〈機械棟〉基礎掘削

【今後の主な工事予定】（主要工事）

〈病院棟〉
（1工区）基礎地中梁鉄筋、型枠、コンクリート工事・1階床鉄筋、型枠工事
（2工区）基礎ベース鉄筋、型枠、コンクリート工事・基礎地中梁鉄筋、型枠工事
（3工区）基礎ベース鉄筋、型枠、コンクリート工事・基礎地中梁鉄筋、型枠工事
〈機械棟〉基礎ベース鉄筋、型枠、コンクリート工事

建設現場風景（9月6日撮影）

お世話になりました

石川清先生

8月31日をもって石川清先生が退職されました。

石川先生は、平成20年7月1日に副院長として着任。平成23年1月1日からは院長職務代理者を兼務し、沢内病院には5年2ヵ月の間勤務いただきました。

石川先生には、日々の診療のほか、夜間や休日の急患対応、人工透析など昼夜問わず診療に従事いただきました。たいへんありがとうございました。

今後、常勤医師は須原誠先生だけになりますが、他病院の先生方の応援により診療を行なっていきます。町民の皆様にはご不便をおかけしていますが、ご理解をよろしくお願いします。なお、診療、応援診療の予定については、広報にしわがお知らせ版に掲載するほか、町ホームページでもご覧いただけます。

◆問い合わせ先
沢内病院　☎85－3131

「公売」を行います

この度町では、滞納者から差押えた財産を公売します（不動産・動産の一括公売）。

入札はどなたでも参加できますが、公売物件の詳細や公売の参加時に持参するものなど、詳しくは税務会計課収納グループまで事前にお問い合わせ下さい。

公売日時　平成25年10月16日（水）
　　午前10時30分開始
公売会場　西和賀町役場湯田庁舎
公売方法　期日入札
公売物件　左表のとおり

■公売参加に当たっての注意

・公売前に滞納町税が完納された場合は公売を中止します。
・公売には公売保証金を納付した後でなければ参加できません。
・今回の公売は多数の物件を一括公売するため参加に当たってはその詳細について税務会計課に必ず確認の上で参加して下さい。

◆問い合わせ先
税務会計課　収納グループ
☎82－3283

公売物件

不動産21筆(土地17筆・建物4筆、建物内に保管されている動産989点)

①間木野24地割195番地36
　他、宅地5筆、合計地積12,394.64㎡
②間木野24地割195番地69
　他、山林7筆、合計地積175,024㎡
③間木野24地割195番地60
　他、鉱泉地3筆、合計地積79.31㎡
④間木野24地割195番地66
　公衆用道路1筆、合計地積934㎡
⑤間木野24地割195番地37
　雑種地1筆、合計地積3,349㎡
⑥間木野24地割195番地36
　他、建物（旅館・倉庫等4棟）、
　合計延床面積5,208.06㎡
⑦建物内に保管されている動産
　989点

見積価格　7,264,000円
公売保証金　726,400円

※今回はこれらを一括した公売となります。
　地番ごとの売却、動産ごとの売却はしません。
※地目及び地積はいずれも登記簿上のものです。

町から各種募集のお知らせ

西和賀町職員募集

町は、薬剤師、臨床検査技師各１名と保育士、看護師若干名を採用します。

条件／①保育士：平成26年4月1日現在で30歳未満の人
②保育士以外の職種：平成26年4月1日現在で40歳未満の人
受験資格／各免許取得者（来年3月31日資格取得見込を含む）
申込方法／申込書に必要書類を添えて総務課に提出（申込書は総務課・町民課で配布するほか、町ホームページからもダウンロードできます）
申込期限／11月８日(金)
１次試験日／11月23日（土）
１次試験会場／西和賀町役場湯田庁舎
◆問い合わせ先／総務課　☎82-3281

平成25年度除雪作業員募集

町は、次のとおり除雪作業員を募集します。

作業内容／除雪機械の運転、除雪作業時の車両誘導など
応募資格／昭和23年4月2日以降に生まれた人で心身共に健康な人
従事期間／平成25年12月中旬～平成26年3月中旬（予定）
応募書類／申込書（建設課で配布するほか町のホームページからもダウンロードできます）、履歴書、自動車運転免許証等の写し、健康診断書（集団検診結果表の写しも可）※詳細は申込前に確認してください
申込締切／10月4日（金）
◆申し込み・問い合わせ先／建設課　☎82-3288

生活支援ハウス利用申込み受付開始

町は、生活支援ハウス「悠々館」「かたくりの園」の利用申込みの受付を開始します。

対象／おおむね65歳以上の1人暮らしや高齢者夫婦世帯などで、常時の介護は必要としないが、高齢等のため独立して生活することに不安があると認められる人
申込締切／10月10日（木）
◆申し込み・問い合わせ先／保健福祉課（沢内庁舎）☎85-3412、地域包括支援センター　☎85-3137、悠々館　☎84-2161

広報にしわが編集委員募集

「広報にしわが」の発行は、編集委員会を設けて合議制で発行しています。現委員の任期満了に伴い、次のとおり広報編集委員を募集します。

募集数／４人
任期／平成25年11月1日から2年間
職務の内容／月2回の編集会議（平日の日中）の出席、そのほか広報発行に必要な会議への出席など
応募条件／①会議に出席できる人②20歳以上の健康な人
申込期限／10月11日（金）
その他／①年齢や職業を、地区などを考慮し選考します②編集会議は湯田庁舎で行ないます
◆申し込み・問い合わせ先／総務課　☎82-3281

芸術文化祭出展作品募集

町と町芸術文化協会では、11月１日㈮から３日㈰にかけ、第8回芸術文化祭を銀河ホールで開催します。

芸術文化祭はステージ部門と展示部門で構成されますが、現在、展示部門への出展作品を募集しています。テーマは自由です。どんどんお寄せください。

募集作品／【美術部門】絵画、彫刻、工芸、書道、写真など【文芸部門】詩、短歌、俳句、川柳など
申込方法／作品に地区名、氏名、題名を明記し、銀河ホールか学務課まで作品を持参してください。また生涯学習課へご相談いただければ直接お借りしにうかがいます。
※全ての作品は芸術文化祭終了後にお返しします
◆申し込み･問い合わせ先／生涯学習課　☎82-3240

『経験したことのない大雨』に対する避難、警戒について

近年、局地的なゲリラ豪雨や洪水による災害が全国で発生しています。

短時間での豪雨により、避難する間もなく、洪水や傾斜地の土石流による被害が発生しており、本町においてもこれまでに経験したことのない大雨が降る可能性があります。

町と北上消防組合では、危険が迫った場合に町内の巡回や必要に応じて避難勧告または避難指示を出しますが、気象庁から特別警報が発表された場合や身の危険を感じた場合は、自らの判断で安全な場所に避難してください。

避難のポイント

- 事前に安全な避難場所を確認しておく
- すでに道路が冠水している場合は、自宅の２階へ避難する
- 自宅からの避難が困難で土砂崩れの恐れがある場合は、２階の山から遠い部屋に避難する
- テレビやラジオなどで災害情報を確認できるようにする
- 「まだ大丈夫」「あともう少し」などと思わず、すみやかに避難
- 避難の際の荷物は最小限に
- 家を出る時には、火元やガスの元栓、戸締りを確認

みんなでみんなの命を守る

泉沢地区で自主防災訓練

担架を使っての救護訓練

８月25日、泉沢防災会（会長・田中正彦区長）が主催する自主防災訓練が泉沢公民館で行われました。

訓練は、真昼岳付近で震度６強の地震が発生し、家屋倒壊などの被害が発生したとの想定で行われ、災害対策本部を設置後、消防団が出動し地区内を巡回。住民に緊急で避難するよう広報を行いました。避難所にはおよそ100人が集まり、各班ごとに安否確認が行われました。その後、担架による救護訓練や放水訓練、ハイゼックス袋を使った炊き出し訓練などが行われました。

西和賀消防署員の指導のもと、災害時に想定される体制の確立が図られました。

地域づくりを学び復興へつなげる

唐丹（とうに）漁協女性部（釜石市）と交流

９月１日、釜石市の唐丹漁協女性部員31人が本町を訪れ、左草地区のざぜん草の会との交流会がゆう星館で行われました。

この交流会は、今年３月に行なわれた「西和賀まちづくりシンポジウム」に同漁協女性部員が参加したのをきっかけに行なわれ、震災からの復興を模索する中で、豪雪や過疎化の課題を抱えながら地域づくりに取り組む様子を学ぼうと企画されました。

当日は、交流の架け橋となった町ゼネラルマネジャーの志村尚一さんの講演や意見交換会などを行なった後、昼食で「納豆汁」や饅頭「湯田地慢」などを堪能しました。参加者らは、互いの課題を理解するともに、今後も問題解決に向け協力していくことを誓っていました。

ざぜん草の会自慢の味を堪能しました

水難事故はこうして防ぐ

沢内小児童が着衣水泳体験

慌てずに行動することが大切です

９月２日、沢内小学校で着衣水泳の授業が行なわれ、万が一、水難事故にあった場合の対処法を学びました。

当日は５、６年生約40人が普段着のままプールに入りました。初めに歩行や遊泳を体験した児童らは「足におもりをつけているみたい」「うまく泳げない」と戸惑いを見せていましたが、服に空気を送り仰向けになる方法や買い物袋やペットボトルを浮き輪代わりに水に浮く方法を教わると、ほとんどが上手に浮くことができました。

沢内小学校では、プール授業の最終日に合せて着衣水泳を行なっており、児童らは予期せぬ災害や事故の場合、溺れている人も助けに行く人も慌てず行動をとることを学びました。

日頃の運転状態をチェック

シルバー運転者講習会

９月９日、沢内バーデンで北上地方交通安全協会沢内支会（加藤保典会長・新町）が主催するシルバー運転者講習会が行なわれ、関係者など約20人が参加して行われました。

講習会は、北上警察署員の指導のもと、60歳以上の運転者が日頃の運転状態のチェックや学科問題で交通ルールの確認など、これからも安全に運転していくために行なわれました。実際にパソコンに映し出された走路をハンドルやクラッチを使い、シュミレーションを行なったほか、酒酔い状態を再現したゴーグルを装着し歩行したり、特殊な双眼鏡で反射材がどのくらい光るかを確認したりしました。

参加者は、今後の運転時に役立てようと真剣に取り組んでいました。

真剣な眼差しでハンドルを握ります

スポーツ結果

（丸数字は順位。敬称略 総務課調べ）

◆第48回全国高等専門学校体育大会
（８月18日、19日・福島県いわき陸上競技場）
【男子】▼4×400mリレー⑦一関工業高等専門学校３分28秒76（為田桂太郎２年・新町・１走で出場）

◆第24回岩手県小学生バドミントン大会
兼第19回東北小学生バドミントン大会岩手県予選会
（８月25日・花巻市総合体育館）
【女子】▼４年シングル③田中涼音　**東北大会出場**

◆2013北上・和賀地区中学校水泳大会
（８月25日・北上市民展勝地プール）（８位までの入賞）
【男子】▼50m平泳ぎ⑤南川陸登（湯田１年）43秒25▼100m平泳ぎ⑦南川陸登１分34秒18▼50m背泳ぎ⑦高橋幸都（湯田１年）50秒03
【女子】▼50m平泳ぎ⑧佐々木瑠海（沢内１年）54秒51

◆第46回和賀地区中学校駅伝継走大会
（８月27日・北上総合運動公園陸上競技場）（８位までの入賞）
【男子】⑥沢内中学校Ａ（北村直輝３年・佐々木康明３年・田中光平１年・北村大吾３年・高橋大海３年・北村竜二３年）１時間03分59秒

◆第49回和賀地区中学校陸上競技大会
（９月１日・北上総合運動公園陸上競技場）（８位までの入賞）
【男子】▼総合⑦沢内中学校48点▼２年100m②米澤康太郎（沢内）12秒47③丹波亜也人（沢内）12秒47▼３年100m②高橋陽向（沢内）11秒73▼共通200m①高橋陽向24秒32④高橋大輝（湯田３年）25秒24▼共通400m⑥高橋航太（沢内３年）59秒16⑧高橋大海（沢内３年）59秒47▼１年1500m②田中光平（沢内）４分37秒69④高橋裕雅（湯田）４分53秒40▼共通3000m⑧北村直輝（沢内３年）10分22秒59▼共通110mＨ⑦高橋大海19秒55▼低学年４×400mリレー⑦沢内中学校（高橋昂也１年・丹波亜也人・新田真央１年・米澤康太郎）52秒70▼共通４×400mリレー⑤沢内中学校（高橋大海・高橋陽向・小松雄飛３年・高橋航太）49秒33
【女子】▼低学年４×400mリレー⑧沢内中学校（佐々木瑠海１年・新田千鶴２年・小森未羽１年・岩井マキ２年）59秒66

◆第33回岩手マスターズ陸上競技選手権大会
（９月１日・一関運動公園陸上競技場）
【M50】▼1500m①山﨑浩行（湯本）５分22秒94▼5000m②山﨑浩行
【W50】▼80mＨ①土井政江（長瀬野）19秒02

◆第64回岩手県高等学校新人陸上競技大会
（９月６～９日・岩手県営陸上競技場）（８位までの入賞）
【男子】▼400m③高橋佑哉（黒沢尻工高２年・猿橋）50秒43▼5000m競歩③吉田雅昂（西和賀高２年・若畑）24分08秒46▼やり投③髙橋洋輝（西和賀高２年・猿橋）47m68▼４×400mリレー⑤黒沢尻工高３分28秒64（高橋佑哉４走で出場）
【女子】▼5000m競歩②尾形美優（北上翔南高２年・川尻）28分11秒39

◆第89回志賀来ドーム愛好会ゲートボール大会
（９月６日、志賀来ドーム）
①藤原の里（奥州市）４勝②槻沢３勝１敗（南川賢一、南川真喜子、竹沢房子、小林ハツエ、高橋ミヤノ）②アイリス（花巻市）３勝１敗④あすなろ（北上市）３勝１敗⑤笠松（北上市）３勝１敗⑥竜馬（美郷町）３勝１敗⑦才の羽々（北上市）２勝２敗⑧弁天・前郷２勝２敗⑨新町・鍵飯２勝２敗⑩大豊（北上市）２勝２敗⑪こまち（横手市）１勝３敗⑫川尻１勝３敗⑬猿橋１勝３敗⑭旭ヶ丘（北上市）０勝４敗⑮さくら０勝４敗（同勝敗の順位は得失点差による）

かたくり日記

平成25年9月

細井洋行

「天高く馬肥ゆる」季節感が今ひとつ。特別警報やら、過去に経験がない程の…となれば身の処し方も難しい。９月16日、横手市の男性（75歳）が山菜取りのため、南本内岳方面へ入山し不明となっている（18日現在）。北上警察署、西和賀消防署、西和賀町消防団員皆様には、自身の安全を確保の上の捜索をお願いします。

今年は、町内８箇所の敬老会に出席させていただきました。各地区の皆様ありがとうございました。西和賀町は、高齢化率が（65歳以上）44・1％で岩手県内で最も高いと報道されています。少子化は大きい課題ですが、高齢者が多いことは〝町の誇り〟です。健康でいかに長生きするかが人生の目標でしょう。天下国家に向かって、大いなる先進事例を示さねばなりません。老人クラブ各位には、『若い者には負けない～俺（私）のひと技』等リストをお願いできればと。ぜひ活用させていただきたいものです。もう一度花咲かせてみましょう。

来る10月12、13日は第10回錦秋湖５００歳野球大会です。横手市や北上市の、おなじみになりつつある面々との交流も楽しみの一つです。歳に相応しいプレーを期待しています。ちなみに自分は今年ユニフォームを〝若手〟に譲り、名実共に、応援団（宴会要員？）になってしまいましたが、めげずにがんばります。

９月14日に役場職員10人で、盛岡市で開催された『感動大学』（又川俊三先生主宰）に参加し研修してきました。スキー事故で「一生寝たきり」と宣告され、自殺未遂までした中学校の体育教師（腰塚勇人氏）が、家族や生徒の応援と、感謝の心により、奇跡の復活を遂げる体験談「命の授業」がありました。その場で購入した本に、腰塚先生から『命が喜ぶ５つの誓い』とサインいただきました。著書の中に書いてあります。

その１「口」は…人を励ます言葉や、感謝の言葉を言うために使おう…まずは、自分の普段の〝口〟を反省してみることからはじめなくてはと学んできました。ありがとうございます。

感謝

みんなのページ

「みんなのページ」は、
皆さんからの情報や
お便り、旬の情報を
紹介していくコーナーです。

～にしわがファンクラブから～『西和賀町の絶品スイーツ!!』

私は「濃厚なブラックコーヒー飲んでいそう!」と言われるほど濃い見た目なのですが、実は…大の甘党です。ブラックコーヒーは苦くて飲めません…。

その私が最近ハマっているものが「わらび餅」。某大手メーカーでも「わらび餅」を売っており、それはそれで好きでした。ある時、西和賀町へ遊びに行き、わらび餅が売られているのを発見!さっそく購入して食べてみたら、西和賀のわらび餅は別格でした。つるっ…モチモチ…口の中で広がる食感は最高!深い味わいで、餅自体がほんのり甘くておいしい!お値段の違いにも納得…でした。子どもたちも一口食べ「うまっっ!何だコレ!」と絶賛しておりました。

特にも子どもたちが気に入ったのが、中に抹茶クリームと黒蜜の入った「雪ほたる」というわらび餅。あっという間に一箱カラになりました。

他の味もあるのかしら…?とネット検索すると、あるじゃないですか!菓子店ごとにいろんな「わらび餅」が!これは西和賀町に赴き、ぜひ制覇しなければ!!と思いました

西和賀のわらび餅ファンとしては、もっと身近に購入できるお店が増えてくれたらな…と切に願っています。

また、私を西和賀ファンになるきっかけをつくっていただいた友人に感謝し、更なる西和賀の魅力を数多くの方々にPRして行きたいと思います。

北上市在住　佐藤　真弘さん

子ども達も西和賀町が大好きです

『さわうち太鼓「百年座」25周年』

平成元年に、旧沢内村村制施行百周年を祈念して、さわうち太鼓「百年座」が産声を上げました。当時、ふるさと創生基金により、全国に数多くの創作太鼓の団体が結成されたことを聞き、我々もその中の一団体として、何としてでも他にない西和賀らしい新しい伝統芸能に築き上げたいと考えていました。今思えば「他の団体に負けたくない!」という気持ちが、今日までやってこれた原動力であったと思います。

25年という長い年月の間には、数多くの語りつくせないドラマがありました。ばちも握ったこともない、音楽の才能もある訳のない我々は、何をどのようにすればよいのかさえまったく検討のつかない毎日でした。幸い、藤沢清美先生という情熱的で、なおかつ厳しい良き指導者に恵まれたこと、都南太鼓保存会、田代太鼓振興会、佐比内金山太鼓保存会、川西天間太鼓保存会の姉妹会の仲間に出会えたこと、そして、個性もスタイルも独特な岩手県太鼓連盟のみなさんに出会えたことで、私たちも成長することができたと思います。

太鼓という素朴でありながら、何か底知れない、奥の深い魅力に惹かれた私たちが、週2回トレセンに集まり、太鼓に向かうことで何かが変わってきたのは確かなことです。

現在、子供太鼓も含め座員12人、週2回太鼓に向かい汗を流しています。この度、無事に25周年を迎えることができたのも、何よりも町民の皆様をはじめ、多くの方々のご指導や励ましによるものと、あらためて深く感謝いたします。

現在まで、回数にして300回以上の出演、その中で「いのち」の大切さ、西和賀のすばらしさを創作曲「いのちの鼓動」で表現してきたつもりです。今後も、常に目標を大きく持ち、妥協することなく「新しい伝統芸能の創作を目指し、地域に根ざした活動を!」をスローガンに、町民一人ひとりの心に響く太鼓を打てるよう努力していきます。

10月13日には、銀河ホールでさわうち太鼓「百年座」25周年記念演奏会を行ないます。是非おこしください。

さわうち太鼓百年座座長　深澤　裕（新町）

おたより随時募集

【応募内容】不思議な体験や代々言い伝わる話、自慢のペットや料理の紹介、季節の思い出などのほか、意見や要望などなんで構いません。

【応募方法】住所・氏名（匿名・ペンネーム可）・年齢・電話番号をお書き添えのうえ、ハガキ、封書、ファックス、メールなどで下記の宛先までご応募ください。

【応 募 先】〒029-5512　岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71
西和賀町役場広報係まで
ファックス番号／82-3111
電子メール／soum@town.nishiwaga.lg.jp

【そ の 他】
○応募いただきた写真や原稿などは返却しませんのであらかじめご了承ください。
○応募いただいた記事等については、広報編集委員会で検討させていただく場合があります。
○皆様からの投稿に際して取得した個人情報は、本誌の編集目的のみに使用します。

◆問い合わせ先　総務課　☎82-3281

役場から

自殺対策強化月間

全国の自殺者数は、平成10年以降連続して3万人を超え、交通事故死の6倍以上にあたります。

これまで自殺は、個人の問題と考えがちでしたが、今は適切な支援につなげることにより避けることが可能な死と考えられています。現代社会では、誰もがこころの健康を損なう可能性があり、自殺は特別なことではなく身近な問題です。自殺を考えている人は、不眠・原因不明の体調不良など自殺のキケンを示すサインを発している場合もあります。

あなたの近くにいる人が、いつもと違う感じで悩んでいるような様子に気づいたときは、声をかけ、じっくり話を聞いて、必要により周囲の人や相談機関に相談しましょう。

●**相談・問合先**／●よりそいホットライン（24時間対応）☎0120-279-226 ●岩手県精神保健福祉センター☎019-629-9617 ●岩手県中部保健所 ☎0198-22-4921 ●保健福祉課☎(85)3411（IP電話も同じ）

国や県から

食の匠の技講習会

中央農業改良普及センターでは、「次代に伝えたい、食の匠の技講習会」を次のとおり行ないます。

●**日時**／10月4日(金)13時30分～
●**対象**／町内在住の20～40代の方（男女問わず）
●**場所**／ふれあいゆう星館（左草）
●**講師**／岩手県食の匠　高橋節子さん（川尻）
●**内容**／西和賀町に伝わる「笹ゆべし」などを学びます（実習あり）
●**参加費**／500円
●**申込締切**／9月30日(月)
●**申込・問合先**／中央農業改良普及センター ☎0197-68-4464 FAX0197-68-4474

「児童福祉週間」標語募集

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行なっていますが、平成26年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。詳細については、（一財）こども未来財団のホームページを御参照いただくか、お問い合わせください。

●**募集期間**／9月2日(月)～10月21日(月)
●**募集内容**／元気で頑張る子どもたちを応援する標語や未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語
●**問合先**／（一財）こども未来財団☎03-5510-1833〈HP〉http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/

法務局休日相談所

法務局では、所掌している業務に関して、みなさんの心配ごとや困りごとにお答えすることを目的に、休日相談所を開設します。

●**日時**／10月6日(日)10時～16時
●**開設場所**／盛岡地方法務局花巻支局のほか県内の本局および支局
●**相談内容**／登記、相続、戸籍、国籍、供宅、家庭問題、近隣問題、いじめ・差別問題、その他困りごと全般。相談は無料で、相談内容については秘密厳守します
●**問合先**／盛岡地方法務局総務課☎019-624-9861

その他

学校へ行こう！ 西和賀高校学校公開

岩手県立西和賀高等学校では、開かれた学校づくりを目的として、次のとおり「学校へ行こう週間」を行ないます。期間中は授業参観、部活動や特別活動、施設などをご覧いただけます。

●**期間**／9月30日(月)、10月1日(火)～3日(木)、6日(日)の5日間
●**時間**／10時～16時
●**その他**／10月6日(日)は文化祭「西高祭」（9時30分～15時30分）を行ないます。
●**問合先**／西和賀高等学校☎(84)2809

健康づくり教室

湯本室内温泉プールでは次のとおり健康づくり教室を行ないます。

●**日時**／9月28日(土)　10時30分～11時30分
●**場所**／湯本室内温泉プール
●**料金**／500円（プール使用料・飲み物代含む）
●**対象**／男女年齢問わず
●**定員**／30人
●**持ち物**／水泳帽子・水着・タオル等
●**講師**／佐々木克也先生（国際アクアビクスインストラクター）
●**申込・問合先**／湯本室内温泉プール☎(82)3794

「西和賀ぶらり旅」写真募集

町観光協会では、町の魅力を伝えるため、四季ごとの案内マップ「西和賀ぶらり旅」を制作しています。マップにはみなさんからお寄せいただいた写真の中から四季ごとに10点を選んで掲載いたします。「どこにも無い四季と湯の里」西和賀らしい「他にはない！」「この場所を是非見てほしい！」という写真の応募をお待ちしております。現在、「秋」の部を募集しています。

●**応募資格**／年齢、経験（プロ・アマ）は問いません。
●**応募方法**／①JPEG形式写真データでの応募（携帯、スマートフォンからも応募可）②プリント写真での応募
※応募方法や規格等についての詳細はお問い合わせください。
●**応募締切**／「秋」の部（9～11月）　11月25日(月)
●**その他**／写真はその場所のスポット写真であり、コンテストではありません。
●**問合先**／西和賀町観光協会☎(81)1135
●**西和賀町観光協会HP**／http://www.yamanoideyu.com/

お知らせ

平成25年度上級救命講習

北上地区消防組合消防本部では、平成25年度上級救命講習会を次のとおり開催します

●**日時**／10月19日(日)　8時50分～17時30分
●**場所**／北上市総合福祉センター（北上市常盤台二丁目1番63号）
●**内容**／心肺蘇生法・AED使用方法等
●**受講料**／無料
●**対象**／北上市または西和賀町に勤務、在学もしくは居住する中学生以上の人
●**定員**／40人
●**申込期限**／10月11日(金)（定員になり次第締め切り）
●**持ち物**／筆記用具、食品用ラップ（幅30㎝程度のもの）、ストッキング、昼食
●**申込・問合先**／北上地区消防組合消防本部警防課　☎0197-65-5176

第47回富士大学紫陵祭

富士大学では、次のとおり学園祭を行ないます。

●**日時**／10月26日(土)・27日(日)　10時～16時
●**会場**／富士大学
●**内容**／ケラケラによる無料ライブ、ビンゴやカラオケ大会、ゼミの模擬店・展示など
●**問合先**／富士大学紫陵祭実行委員会　☎0198-22-4507

路線バス「山伏線」（ほっとゆだ駅～盛岡バスセンター）のご利用を

路線バスは、高齢者や子どもなど車を運転できない人にとって、通院や買い物に利用できる大切な交通手段の一つです。しかし、年々利用者数が減少しています。

現在、国、県、町が赤字路線の運行経費の一部をバス事業者に補助しています。今後、利用者が減少することで補助要件を満たさなくなった場合、補助金を交付することができなくなります。このままでは、路線の廃止、再編が進んでいくことが予想されます。公共交通を維持するため、皆さんの積極的なご利用をお願いします。

補助金額（国・県）（参考）

年度 ※	補助金額（円）
H24	12,373,000

※事業期間：10月1日～9月30日

バスカードのご案内

発売額（円）	利用金額（円）	割引額（円）
1,000	1,100	100
3,000	3,300	300
5,000	5,700	700

<時刻表>

「ほっとゆだ駅～盛岡バスセンター」

運賃（円）	ほっとゆだ駅発	6:25	9:35	13:15
980	八ツ又	7:11	10:21	14:01
1,000	若畑	7:12	10:22	14:02
1,000	盛岡バスセンター	8:40	11:50	15:30

「盛岡バスセンター～ほっとゆだ駅」

運賃（円）	盛岡バスセンター発	9:55	13:25	17:25
250	イオンモール盛岡	10:18	13:48	17:48
1,000	貝沢	11:16	14:46	18:46
1,000	ほっとゆだ駅	12:10	15:40	19:40

※運賃は、上限1,000円でご利用いただけます。

●**お買い求め・問合先**／岩手県交通㈱湯本バスターミナル☎(84)2311

戸籍の窓

（敬称略）　8月16日～9月15日受付分

※掲載を希望しないこともできます。届け出の際にお申し付けください。

ご誕生おめでとうございます

平澤智輝（ともき）（男）　和行　泉沢
深澤愛依紗（あいしゃ）（女）　純一　川舟
戸巻結真（ゆうま）（男）　守　大野
髙橋つばさ（女）　太樹　川尻

お悔やみ申し上げます

藤澤市郎（68歳）　8月17日　湯田
近藤武雄（88歳）　8月19日　太田
有馬チヤ（87歳）　8月31日　川舟
佐々木庄嗣（75歳）　9月4日　川舟
中山アサ（85歳）　9月13日　川舟
刈田奉文（70歳）　9月14日　太田
菅原忠男（87歳）　9月15日　川尻

住民の動き（8月分）

項目	実数	前月との比較
転入	12	＋4
転出	8	－4
出生	4	＋3
死亡	5	－4
人口	6,486	＋2
男	3,028	＋1
女	3,458	＋1
世帯数	2,423	－2

交通事故の状況（8月分）

区分	物損	人身	負傷	死亡	飲酒
実数	7	1	0	0	0
累計	(114)	(6)	(0)	(0)	(0)

（　）は1月からの累計

火災・救急の状況（8月分）

■火災

区分	火災出場件数
件数	0件（5件）

■救急

区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	1件（9件）	8件（88件）	13件（97件）	22件（194件）
搬送人員	2人（11人）	7人（79人）	12人（90人）	21人（180人）

（　）は1月からの累計

われら！いきいきクラブ!! vol.2

町内で様々な活動をしているグループ、個人を紹介していきます。

湯田中舘会　会長　高橋　正夫 さん

私たちは年を重ねても、欲張り挑戦を忘れず、仲間を思いやり、支えあいの心を持ち私達のできることを元気に楽しくをモットーに家族、地域から好かれる昔の若者・乙女でありたい。年老いて、髪の毛が薄くなっても、白髪になっても、腰が曲がっても、耳が遠くなっても、しわが増えても笑顔を忘れない人は一生素敵です。　（文・高橋正夫会長）

にしわが再発見

「サワギキョウ」

朝晩の気温が下がり、野山が少しずつ秋の装いへと変わり始めた9月初旬、ハッチョウトンボ生息地貝沢野の湿原を訪ねてみました。

もうすでに、ハッチョウトンボは見られない季節ではありましたが、湿地の草ワラあちこちに咲く、ひと際目立つ青紫のサワギキョウの花にしばらく見入ってしまいました。どこかサギソウを思わせる花の形は印象的で、私の好きな山野草の一つとなりました。

これから日増しに色濃くなる西和賀の秋を、みなさんも散策してはいかがでしょうか。

（広報編集委員　赤石　百合子）

広報編集委員が町内を駆け回り、「にしわが」の今をお伝えします。

編集後記

短かった夏も終わり、芸術の秋を向かえています。ここ数年、ゆっくりじっくり芸術鑑賞する機会がありません。芸術に接するのは仕事がらみがほとんどで、仕事だと紙面の掲載をイメージするので、内容はさておいて写真を撮りまくってしまいます。今秋は食欲より、芸術の秋で心を癒したいものです。　広報担当　東　清彦

広報 にしわが
■発行日／平成25年9月25日（毎月25日発行）
■編集・発行／〒029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71 西和賀町役場総務課 電話0197-82-2111 FAX0197-82-3111
■発行人／細井洋行　■編集人／高橋　智　■印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
VEGETABLE OIL INK